

(5) 前葉市長の、東日本大震災被災地訪問について
ア 鈴木三重県知事は初登庁までに被災地訪問をした。前葉市長は震災後3カ月過ぎてからやっと被災地訪問。それも突然決定、まして会期中である。いかなることか

(6) 津市東北地方太平洋沖地震対策会議が設置されているが
ア 何処のことか、また、どのような会議なのか
(7) 我が市独自の義援金について
ア 県内市町自治体は勿論のこと、団体・市民等の支援の輪

が全国的に広がっているが、我が市においては未だに義援金の支援をしていないが理由を伺いたい
イ 市長の被災地視察に際してどのような支援が行われたのか

なか むら まさ はる
中 村 勝 春

けん とく ら ぶ
県都クラブ

田中 千福 西山 みえ
岡 幸男 川崎 正次
田矢 修介 前田 勝彦
中村 勝春

問 搬送先の病院が決まらず動き出さない救急車の対応について救急搬送システムの構築は

答 救急現場と医療機関を結ぶ情報連携、情報共有は有効かつ重要なことから、今後県の動向も確認しながら、医療機関や医師会等とも連携を図り、適切なシステムの構築を検討していく。

問 海上アクセス事業について津なぎさまちの平面駐車場を立体化し利便性の向上を

答 駐車場の立体化は利用者の利便性の向上につながると考えるが、多額の建設費用、建設期間中の代替駐車場の確保及び景観への配慮等の課題もあり、慎重に検討していく。

●議案質疑●

議案第65号 平成23年度津市一般会計補正予算（第1号）

1 歳出 衛生費 保健衛生総務費 救急医療事業について

(1) 救急相談ダイヤルとはどのようなサービスなのか、開設の目的及び事業内容について
(2) 救急医療体制充実にどのような効果が期待できるのか

(3) 多くの市民に利用いただきてこそ効果が上がると思うが、どのように市民に周知し浸透させていくのか

●一般質問●

1 所信表明から

(1) 搬送先の病院が決まらず動き出さない救急車の対応について

ア 救急車と医療機関を結ぶ救急搬送システムの構築は

イ 救急車の適正利用についての啓発は

(2) 保育園の待機児童の解消について

ア 教育委員会として保育園の待機児童が増加傾向の中、幼稚園児が減少している現状をとらえて、今後の幼稚園のあり方をどのように考えているのか

2 教育方針から

(1) 年次的な改修整備として建物の耐久性の確保を図るための大規模改造事業を順次進めるとなっているが、どのような事業なのか

3 海上アクセス事業について

(1) 海上アクセス船の利用状況と高速道路有料化に伴う影響は

(2) 津なぎさまちの駐車場の利用状況は

(3) 津なぎさまち内の平面駐車場を立体化して、利用者の利便性や津波などいざと言う時の避難場所にしたらいと思うが如何か

4 災害時の避難場所について

(1) 災害発生後、休日夜間避難所に避難しても入れない避難所がある

(2) マンホールトイレは国の補助金事業として条件を満たしている避難所への設置を進めているが、必要とする避難所に設置されていないのはなぜか

(3) 避難所は主に公共の施設を指定しており地域的にバラツキがありすぎる、地域の集会所等利用した避難所の設置を
(4) 仮設住宅の設置予定箇所をあらかじめ決めておく必要があるのでは

▶海上アクセスの駐車場の立体化を

